



第九たいむず

Beethoven

No.16 2015.9.17 通刊1158号 担当 Todo

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX:027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)



★★来週9月24日(木)に**パリッシュさんの取材**が入ります! 11月号の表紙を飾り、特集を組んでくださるそうです。練習風景写真を撮ります。11月号掲載にふさわしい時季の平服でお願いします。他に正装の写真も撮りますが、こちらは役員さんに準備対応をしていただきます★★

◆ 第42回演奏会指揮者・ソリスト紹介(1) 指揮者:矢崎彦太郎氏



1947年東京生まれ。4才よりピアノを始め、上智大学数学科に学んだ後、同大学から東京芸術大学指揮科に再入学、金子登、渡邊暁雄、山田一雄各氏に指揮法を学んだ。日本フィル指揮研究員として小澤征爾の助手を務めた後、東京ユース・シンフォニー・オーケストラのスイス演奏旅行に同行、公演後ヨーロッパ各地を移り住みながら、スワロフスキー、チェリビダツケなどに師事。

ブザンソン国際指揮者コンクールなどに入賞を果たし、1975年ボーンマス交響楽団皮切りに本格的に指揮活動を開始、BBC響などに招かれる。1979年よりパリに拠点を移す一方、同年には東京交響楽団定期を指揮し日本にも本格的なデビューを果たす。また、ダニエル・ルスユール作曲「オンディーヌ」の世界初演でオペラにも活動の場を広げて以来、ボルドー歌劇場、二期会、関西二期会にも招かれている。

これまでに、東京交響楽団指揮者、旧西ドイツホフ交響楽団(西独)音楽監督・首席指揮者、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席客演指揮者などを歴任。また、2000年よりバンコク交響楽団名誉指揮者を、2004年から2009年まで同楽団音楽監督・首席指揮者、2005年よりジャカルタのヌサンタラ交響楽団音楽監督、2009年よりガラヤニ ワタナ オーケストラ指揮者を兼任。

2000年フランス政府より芸術文化勲章シュヴァリエを、2008年には同オフィシエ勲章を受勲。2002年エクソンモービル音楽賞奨励賞を受賞。パリ在住。(写真:有田周平氏)

★ソリストについては次号以降順次紹介します。

◆ チケットについて

今年は初めて「**チケットぴあ**」を採用します。団員の皆様には、団を通じた受け渡しを原則に致します。券種は昨年と同じくS:5000円、A:4500円、B:4000円、C(自由席):3000円です。

ご希望の方は 所定の用紙にて**本日迄に受付に申し込んでください**。お申し込みのない方にも出演者1人あたりA、B、C席をとり混ぜて8枚配布します。お渡しは10月8日(木)です。

チケットの売り上げにより、演奏会にかかる費用を賄います。沢山のお客様に来ていただけるように最低2枚以上のご協力をお願いします。(2枚売れたらそれでいいということではありません) チケット代は売れたらその都度受付で精算してください。よろしく願い致します。

◆ チラシ、ポスター等

出来上がり次第、皆様にもお渡しできるように致しますので、ポスターを貼ったりチラシを友人知人に配ったりするなどコンサートの宣伝をしましょう(貼る場所は必ず許可を得て貼り、演奏会終

了後は貼ったままにせず、剥がすのも忘れずに行ってください)。皆で協力して宣伝していきましょう。

◆ 出席簿

演奏会の日付の欄に○(出席)、△(未定)、×(欠席)いずれかの記入をお願い致します！

◆ 今後の予定

10月 4日(日) ドイツ公演 結団式 16:00～ (メトロポリタン高崎)
10月17日(土) 18日(日) 軽井沢レッスン(武蔵野音大軽井沢研修センター)
11月 6日(金) ドイツ・トリアー公演
12月 5日(土) ドイツ公演 解団式 18:00～ (メトロポリタン高崎)
12月19日(土) 第42回 第九演奏会(群馬音楽センター)

◆ 合宿参加申込みを受付中 本日締め切りです。

『2015軽井沢レッスン』参加申し込みは所定の申込用紙にご記入の上、参加費8000円を添えてお申し込み下さい。最後の集中練習(1泊2日)です。ふるってご参加ください。

◆ 「国技館5000人の第九」(すみだの第九)申込みを受付中！

例年有志で参加している《すみだの第九》(2016年2月28日(日)開催)例年より早いですが、少しでも良い席を確保するために申し込みを受け付けています。締め切りは9月24日です。所定の申込用紙に参加料7500円(団体扱い)を添えて、受付(深町さん)までお申込みください。

◆ 新人さんより自己紹介⑨

アルト 松本直枝さん



お久しぶりにお目にかかります。よろしく願い申し上げます。高崎第九の41回の公演のほんの数回の参加でしたが、いつも団長さん始め指揮者、スタッフ、講師の先生方のほとぼしる情熱に釣り込まれ、歌う心の何か永遠の求めるものを共感する気にさせていただき感謝しています。毎年の演奏会はほとんど拝聴し、万雷の拍手に手が痛くなるほど負けずに拍手を送ります、ア・リ・ガ・ト・ウ、今年も素晴らしい感動を！と。

親世代の介護が終わり肩の荷を下ろしかけたところ、洋子先生に再びお声をかけていただきました。戦後70年の年ですが、ドイツの古都で第九を歌うのも意義深さ格別ですね。2002年のポーランド公演の時、この国の歴史に胸打たれること多く、アウシュヴィッツでは皆言葉もなく歩きました。ワルシャワのパルチザンの蜂起の時、ひそかに歌われていた曲を加藤登紀子さんが持ち歌にしていたことを後に「旅のチカラ」という番組で知り、再び訪ねた気分になりました。日本の歌を旅先で届けながら歌のチカラを感じることに会うことでしょね。

◆ イベント情報

★日本とロシアの音楽の歴史的交流「音楽の架け橋」9月23日(水) 14:00開演 高崎シティギャラリー コアホール

@2, 500円 ユリヤ先生がピアノ、瀧川先生がナレーションでご出演されます。

★同声会コンサート2015 10月9日(金) 18:30開演 前橋市民文化会館小ホール

東京芸術大学音楽学部同声会群馬支部のコンサートです。I部ピアノ、箏の器楽演奏、II部「ロマン派の諸相」と題し、声楽です。詳しくはチラシを参照ください。詳細問い合わせ、チケット等は、住谷先生まで。